

第6回クオリアAGORA2013

「東電をどうすべきか？」

～原発リスクとどう向き合う！～

日時 2013年10月24日(木) 18時～21時

会場 同志社大学 室町キャンパス 寒梅館 地下A会議室

- 主 催 京都クオリア研究所
- 共 催 京都大学
- 特別協力 京都高度技術研究所 同志社大学
- 後 援 京都府 京都市 京都商工会議所 京都経済同友会
京都産業21 京都リサーチパーク 大学コンソーシアム京都
京都工芸繊維大学 京都産業大学 立命館大学 龍谷大学

福島第1原発事故から2年半余りが経過、汚染水漏れと海洋への汚染流出は、事故炉の安定化と廃炉に大きな問題を投げかけています。すべての処理が終わるのに一説では100年以上もかかり、費用は天文学的ともいわれています。原発をエネルギー政策の主軸に位置づけた国、そしてそれを積極的に推進してきた電力会社だけではなく、研究者もまた市民も原発リスクと向き合ってこなかったのではないのでしょうか。第6回は、石橋湛山賞を受賞した「原発危機の経済学」を著した一橋大学の齊藤誠教授を招き、福島原発事故を検証しながら、事故処理をどうするか、そして東電をどうするか、について考えます。

- ◆18時～ **開会挨拶** 村田 晃嗣(同志社大学学長)
- ◆18時10分 **講演**「原発危機の経済学 ～社会学者として考えたこと」(仮)
齊藤 誠(一橋大学大学院経済学研究科教授)
- ◆19時10分 **対談**「原発と民間事業者」(仮)
齊藤 誠(一橋大学大学院経済学研究科教授)
篠原 総一(同志社大学大学院経済学研究科教授)
- ◆19時40分 **討論**
堀場 雅夫(堀場製作所最高顧問)
山極 寿一(京都大学大学院理学研究科教授)
高田 公理(佛教大学社会学部教授)
山口 栄一(同志社大学 ITEC 副センター長、総合政策科学研究科教授)
- ◆20時55分 閉 会

* 定員80名。定員を超えた際は参加をお断りする場合があります。

終了後、懇親会を1階カフェレストランで開催します。

懇親会の参加費として、年間会員以外は3000円を徴収します。

お申込・問合せ：京都クオリア研究所（長谷川）

TEL&FAX：075-213-1463 E-mail：info@goodkyoto.com

当日及び会場に関する問合せ：

同志社大学 技術・企業・国際競争力研究センター(ITEC)（森）

FAX：075-251-3139 E-mail：hmori@doshisha-u.jp

ホームページ (<http://www.goodkyoto.com/>) にも掲載しています